



夏休み、学生の姿はなく静まり返っています。そんな中、日が暮れると花が開きます。レース状で白く、とてもきれいな花です。しかし、夕刻、暗くなり始めてから開くので目にすることは少ないのではないのでしょうか。このカラスウリ、ラグビーボールを思わせるような形の実をつけます。写真は緑ですが、熟すとオレンジ色に染まります。



真夏の厳しい日差しのもと様々な作物などが花開いています。

オクラ、夏野菜としてお店などでも目に留まることが多いと思います。しかし、花を見ることは栽培しているところでもなければ稀ではないかと思えます。アオイ科の植物で、割と大きな黄色いきれいな花を午前中、咲かせます。

同じ黄色ではモロヘイヤも小さな花が咲き始めています。やがて結実するのですがその実（種子）はステロイド系の毒があります。家庭菜園でも育てられるますので十分注意しましょう。

今年はイネの花もあります。「花が咲くのはなぜ」とレタス類の花を珍しそうな目で見ている学生に何度となく問います。種の維持のため花を咲かせていると話すと「そうだよね」と納得しているようです。

猛暑の続くこの夏、ニュースでも鳩山町が高い気温で紹介されることも多くなっています。鳩山町にアメダスの観測点が設置されているので、公式な記録として公表されています。この夏、猛暑日は30日を超えています。8月丸々、猛暑日といったところ。この鳩山町のアメダスポイントがここから最も近いところです。やや山の鳩山町に比べると農園はもっと暑いのではないのでしょうか。猛暑加え、水不足がニュースとなっています。農園の作物も暑さと乾燥で厳しい状況が続いています。秋の収穫にどのように影響するか、非常に不安です。

